

# Stanley Park Ecology Tour

スタンレーパークはバンクーバーのダウンタウンの北西部に位置し、約400万平方キロメートルの広さを誇る公園であり、市民の憩いの場となっている。バンクーバーの市民にとって大都会の中にありながら大自然を満喫できる場所である。公園内には様々な種類の動植物が生息しており、ここを訪れた人は都会の喧騒を忘れ、これらと触れ合うことができる。また、スタンレーパークは、毎年約800万人が訪れる観光スポットでもあるので、バンクーバー市民だけではなく、観光客にも親しまれている。



スタンレーパークの芝生の広場



Picture 2 タカの巣の大きさ

左の写真は私たちが参加したスタンレーパークのエコツアーの一部始終である。エコツアーでは、スタンレーパークに生息する動植物についてガイドさんから説明を受けながら園内を回ることによって学習するツアーのことである。左の写真はスタンレーパーク内に生息するタカの巣の大きさを教えて頂いているところである。木の上部に人間が6人で輪になった程度の大きさであるということを見せて頂いた。

右の図はスタンレーパークに生息するナメクジである。日本のナメクジに比べて3～4倍の大きさである。ガイドさんはエコツアー中にナメクジを見つけると、ためらわずにナメクジを手の甲へ乗せて説明を始めた。ガイドさんによると写真の奥に写っている黒いナメクジが Chocolate slug であり、手前の黄色のナメクジが Banana slug であるという。



Chocolate slug と Banana



Nursing tree

左の写真は Nursing tree と呼ばれる木である。Nursing tree とは切り株や倒木のことであり、Nursing tree の上に植物の種が落ち、そこからその植物が成長する際に Nursing tree の栄養分をもらって成長する。これが Nursing tree と呼ばれる理由である。

スタンレーパークの中の池にはビーバーが生息している。ビーバーは土を使って天然のダムを作る動物であり、公園内の池にはビーバーが作ったと思われる天然のダムを見ることができる。右の写真はその一つである。



ビーバーが作ったダム